

受賞一覧表

1年	
金賞	1I『明日へ』
銀賞	1B『虹』
銅賞	1J『僕が守る』
パフォーマンス賞	1K『パプリカ』
最優秀指揮者賞	竹内優輝(1J)
最優秀伴奏者賞	関崎愛里(1B)
2年	
金賞	2I『僕のこと』
銀賞	2B『証』
銅賞	2E『青い鳥』
最優秀指揮者賞	石原七海(2D)
最優秀伴奏者賞	川嶋征周(2B)

ホールに響く努力の音色

第17回合唱祭開催

1月16日(木)に立川市にあるたましんRISURUホールで第17回合唱祭が行われ、各クラスが作り上げてきた歌声がホールに響き渡った。今回は合唱祭で優秀な成績を収めたクラスや、合唱祭の成功を支えた生徒に話を聞いた。

2年金賞1組
『僕のこと』を受賞した2年生の部で金賞を受賞した男女でバランスの取れた声量と若者が共感しやすい歌詞が相まって生徒の心を引いたのは、Ms. GREEN APPLEの『僕のこと』を歌った2I。



『僕のこと』を歌い、見事金賞に輝いた2I

た。クラス全員が指揮者に注目し、声を伸ばすところ、止めるところがびたりと揃っている合唱からは2Iの一体感がひしひしと伝わってきた。

阿部優介くんは「ミスがあったものの、それを気にさせないほどの迫力やハーモニーの美しさが良かったです」と本番を振り返る。2Iは各パートの音取りを正確にすることや、一言ひとこととはっきり歌うことに力を入れて練習してきたという。最後に「このクラスで行う最後の行事で金賞を獲得したのはとても良い思い出になりました。本当にありがとうございました」とクラスメイトの協力に感謝の気持ちを示した。

1年金賞1組
新クラスが始まった4月からこの合唱祭に焦点を当ててきたという1I。本番では、昨年の合唱祭の全体合唱曲、富



題字 井口 文章
再刊 第315号
印刷・発行 錦城高等学校新聞委員会 編集室 2020

みんなでつくる 錦城高校新聞

一面…合唱祭での活躍を徹底取材！
編集部にパソコンを恵んでください！
二面…来週に迫った蔵王スキー修学旅行特集！
蔵王に向けての活動をインタビュー！

成功へ導いた裏方たち

審査係チーフの川嶋征周くん(2B)は、審査をするうえで、自分たちの採点で各クラスの運命が決まるという緊張感があったと話す。



審査係チーフの川嶋くん(右)と司会チーフの内田さん(左)

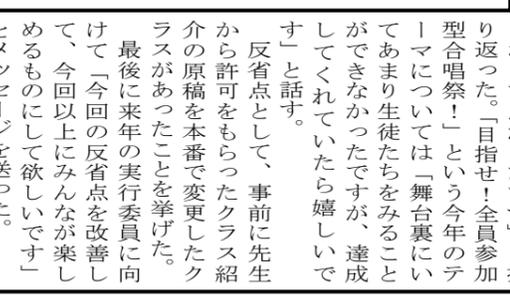
自身は1年生のクラスを審査したという今年ほどのクラスも上手かったです。特に金賞・銀賞・銅賞は僅差でした。ただ、金賞の1組は曲をアレンジするなど、声量が高かったと思います」とコメント。

最後に来年の合唱祭にむけて、1年生へ「技術云々というより、人に伝えられる合唱を目指せば審査員も良い評価をつけてくれるはずですよ」と話してあげたいと話した。

最後に来年年度の合唱祭実行委員会に向けて「しっかりと指示を出しつつ、分からないことがあれば周りに頼ることも大切にしてほしい」とメッセージを送った。(蓮・慈)

先生合唱も大盛り上がり

毎年恒例の先生合唱では、指揮・中澤椋太先生、伴奏・辻唐平先生で『宇宙戦艦ヤマト』が歌われた。観客席からは先生の名前を呼ぶ声や「先生可愛い」「曲が古い」「ピアノすごい」など多くの反応が見られた。



合唱が並ぶ中で、唯一ダンスを披露したクラスだった

先生合唱も大盛り上がり。毎年恒例の先生合唱では、指揮・中澤椋太先生、伴奏・辻唐平先生で『宇宙戦艦ヤマト』が歌われた。観客席からは先生の名前を呼ぶ声や「先生可愛い」「曲が古い」「ピアノすごい」など多くの反応が見られた。

指揮者の和田慧紀さんと伴奏者の有賀菜摘さんは、合唱で一番力を入れたところを「アカペラの部分です」と話す。和嶋くんが客席の方向に振り向いて歌ったり、アカペラに入りやすいよう有賀さんが間奏をアレンジしたりと、工夫を重ねた。和嶋くんは「みんなの一人ひとりの力が金賞につながったと思います」、有賀さんは「今までで一番楽しい合唱ができてとても嬉しかったです」と話した。

合唱祭翌日、実行委員の池上泰輝くんと穴戸拓海くんが話を聞いた。合唱曲を『パプリカ』に決めた後、「予想より声量が小さかったのと、まじめなものやう理由で方針を変えた」という理由で方針を変えた。ダンスは最初からダンスだったので他クラスの

こととは初めからアウトオブ眼中でしたと穴戸くん。池上くんは「本番は練習時よりも声が出ていました。クラスのみんながよく頑張ってくれたと思います」とクラスメイトに感謝の言葉を述べた。

むらさき草
今更だが、一年生5人、二年生8人の新聞委員会編集部に所属している。編集部の事に興味はねえよと思う人がいるかもしれないが読んで欲しい。この錦城高校新聞を作る編集部は、根暗で真面目なイメージのあるかもしれない。だが先日の編集部は爆笑の渦だった。個性豊かで色々なメンバーが集まって、実際のところ毎日大騒ぎの編集部だ。そして、締め切りが迫るがそれぞれ特色を生かして紙面を完成させていく。森絵都さんの小説『カラフル』は、自殺した主人公が天使の協力を得て、他人の体で人生をやり直す話だ。その主人公が好意を寄せられているひろかは、きれいなものが好きな自分、自分を壊してしまいたい自分、自殺したくない自分、「色んな自分」がいるんだと主人公に話していた。物語を通して、主人公とひろかは一人ひとりが持っている様々な「色」を大切にしていこうと気づいていく。読み終えた後、人は単色ではなく「カラフル」なのだを感じる小説だった。もちろん、人に見せる色もあれば、人には見せたくない色もある。誰でも「愛想笑い」をしたことがあると思う。歌手のあみよんは「マトリョーシカ」という曲で、自分の内面を隠して、何重にも取り繕って一生懸命隠している今どきの若者の気持ちを歌っている。正直、編集部に行くのがめんどくさいと思ったり、先輩に不満を持ったりする「赤色」の自分もいる。一方で、仲間と盛り上がる時の「黄色」の自分もいる。確かに自分も色々だ。自分だけじゃない。部活で活躍した錦城生の取材、全国で活動する他校生徒の取材など、新聞の活動で十人十色、様々な「色」の人たちに出会うことができる。焦りの色あが隠せないその他委員会メンバー。この編集部も本当にいろいろだ。すべての「色」を大切にしたい。(雀)



1組にしか歌えないオリジナルの『明日へ』

『明日へ』をダンスとともに披露し、パフォーマンス賞を獲得した。始めは踊りと合唱のグルーブに分かれていたが、途中からクラス全員がダンスをする場面も観客席の生徒も手拍子で参加し、会場が一体感に包まれる発表となった。

合唱祭翌日、実行委員の池上泰輝くんと穴戸拓海くんが話を聞いた。合唱曲を『パプリカ』に決めた後、「予想より声量が小さかったのと、まじめなものやう理由で方針を変えた」という理由で方針を変えた。ダンスは最初からダンスだったので他クラスの

こととは初めからアウトオブ眼中でしたと穴戸くん。池上くんは「本番は練習時よりも声が出ていました。クラスのみんながよく頑張ってくれたと思います」とクラスメイトに感謝の言葉を述べた。

2年指揮者賞を獲得したのは石原七海さん(2D)。「私自身、他クラスの合唱を聞いて緊張してしまっていたため、練習より上手に振ることは出来ませんでした」と本番を振り返る。最後に「もしまた指揮者をする機会があれば、パーフェクトに振れるよう努めます」と思いを語った。(蘭)

2年指揮者賞を受賞した竹内優輝くん(1J)は、指揮をする上で「クラス曲のテーマである『仲間』の空間を指揮で描くことを心がけました」と話す。さらに「この賞を受賞することが出来たのも今までついてきてくれた1Jのみんなのおかげです。ありがとうございました」とクラスメイトへメッセージを送った。(鷹)

昨年引き続き、2年連続で最優秀伴奏者賞を獲得した川嶋征周くん(2B)。伴奏の練習は年が明けてから始めたというが、始めるのが遅かった分、前日まで必死に練習したそう。本番は合唱に合わせて伴奏ができたと思うので良かったです。2年連続の受賞を目指していたので素直に嬉しいです」と話した。また、幼稚園に入る前からピアノを習っているという1年最優秀伴奏者賞の関崎愛里さん(1B)。自身の演奏を「ペダルでミスをするなど納得いかない点ばかりでした」と振り返る。しかし、賞に選ばれた感想を聞くと「喜びと驚きでいっぱい。クラスみんなに感謝です」と笑顔を見せた。(蓮・李)

昨年引き続き、2年連続で最優秀伴奏者賞を獲得した川嶋征周くん(2B)。伴奏の練習は年が明けてから始めたというが、始めるのが遅かった分、前日まで必死に練習したそう。本番は合唱に合わせて伴奏ができたと思うので良かったです。2年連続の受賞を目指していたので素直に嬉しいです」と話した。また、幼稚園に入る前からピアノを習っているという1年最優秀伴奏者賞の関崎愛里さん(1B)。自身の演奏を「ペダルでミスをするなど納得いかない点ばかりでした」と振り返る。しかし、賞に選ばれた感想を聞くと「喜びと驚きでいっぱい。クラスみんなに感謝です」と笑顔を見せた。(蓮・李)

昨年引き続き、2年連続で最優秀伴奏者賞を獲得した川嶋征周くん(2B)。伴奏の練習は年が明けてから始めたというが、始めるのが遅かった分、前日まで必死に練習したそう。本番は合唱に合わせて伴奏ができたと思うので良かったです。2年連続の受賞を目指していたので素直に嬉しいです」と話した。また、幼稚園に入る前からピアノを習っているという1年最優秀伴奏者賞の関崎愛里さん(1B)。自身の演奏を「ペダルでミスをするなど納得いかない点ばかりでした」と振り返る。しかし、賞に選ばれた感想を聞くと「喜びと驚きでいっぱい。クラスみんなに感謝です」と笑顔を見せた。(蓮・李)

昨年引き続き、2年連続で最優秀伴奏者賞を獲得した川嶋征周くん(2B)。伴奏の練習は年が明けてから始めたというが、始めるのが遅かった分、前日まで必死に練習したそう。本番は合唱に合わせて伴奏ができたと思うので良かったです。2年連続の受賞を目指していたので素直に嬉しいです」と話した。また、幼稚園に入る前からピアノを習っているという1年最優秀伴奏者賞の関崎愛里さん(1B)。自身の演奏を「ペダルでミスをするなど納得いかない点ばかりでした」と振り返る。しかし、賞に選ばれた感想を聞くと「喜びと驚きでいっぱい。クラスみんなに感謝です」と笑顔を見せた。(蓮・李)

必要なパソコンはありますか？
新聞委員会編集部は、現在パソコンの寄付を大募集しています!!
新校舎7階生徒会室で待っています!